

第4回坂東PA関連事業に関する整備方針検討委員会（概要）

■日時：令和2年6月24日（水）14：00～15：30

■場所：市民研修所

■出席者：委員

納口委員長・鈴木清副委員長・張替委員・後藤委員・石川委員・
鈴木功委員・荒木委員・松本委員・平勢委員・田村委員・
北島委員・山口委員・金久保委員・鈴木博委員・奥貫委員
（欠席：長妻委員、宮部委員）

オブザーバー委員

江波戸委員・長谷川委員・佐藤委員・赤羽委員・大畠委員・
柏崎委員・青野委員
（欠席：青木委員、桑名委員）

市・事務局

高橋都市整備課長・植本副参事・張替係長・張替主幹・小澤主幹

●議事

（1）整備コンセプトについて

地域利便施設の整備の方向性を示す整備コンセプトについて、6つの案を議論した。

（2）ゾーニングについて

地域利便施設の施設配置の基本形となるゾーニングについて、3つの案を議論した。

●決定事項

○整備コンセプトについては、今回議論した案を基に、2つ程度の案を事務局で作成し、次回委員会にて議論を行う。

○ゾーニングについては、案③を採用とする。

○坂東PAの整備進捗とあわせるため、物販施設（コンビニ事業者）の市場調査（サウンディング調査）を実施する準備を進める。

●意見交換での主な内容

整備コンセプトについて

- 案③は段階的整備というイメージが盛り込まれているのが良い。
- 坂東市は全国的には知名度が低いことから、案⑥のように「将門公」をコンセプトに入れてPRしたらと考える。
- コンセプトには「桜」を活かしてはどうか。また、緑も多い場所であるため、案②も良いのではないか。市のPRのためには、「坂東」も入れたい。
- コンセプトが施設をイメージするためのキャッチフレーズであるのならば、委員会でハイウェイオアシスららん藤岡に視察に行った経過もあり、オアシスというワードが入った案①が良いのではないか。
- 坂東市の坂東は利根川の異称である「坂東太郎」と同一のものであり、コンセプトにも「坂東」は入った方が良いと思われる。
- 坂東市の魅力を発信していくためには、史跡をもっと活用すべきであり、地域利便施設と併せて國王神社等の平将門公に関する史跡を売り込んでいくべきである。
- 今回意見が出た、案①、②、③、⑥を複合的に検討してはどうか。
- 全国の人が聞いたときに、地域のことが分かるようなコンセプトが良いのではないか。
- 今後施設の名称を決定する際は、全市民に問う公募のような形が良い。

ゾーニングについて

- 案②はヘリポートが施設から近く、利用者が危険ではないか。
- 地域利便施設の建屋について、東側第2駐車場から利用しやすくなる配置等を検討しても良いのではないか。
- ハイウェイオアシスららん藤岡では、後から増設した部分があると伺ったため、本地域利便施設においても、増設の余地を残す必要がある。
- 施設中央部の連絡道路（市道）について、事故等の危険があり、歩行者等への安全対策は十分に行う必要がある。
- 案③にすれば、調整池を渡る橋をそのまま市道上まで伸ばし、歩道橋にすることができ、歩行者等への交通安全対策が可能となる。

○歩道橋は車いす対応等バリアフリーの観点も考慮したものとした方が良い。

その他

○P Aと連結した施設ということで、圏央道の菖蒲P Aや江戸崎P Aの利用者数を把握すべきではないか。

○段階的に施設整備を行う施設機能のうち、早期に整備が必要な物販施設（コンビニ）については、民間活力を生かすための市場調査（サウンディング調査）を先行して行ってはどうか。

（以上）